



次世代自動車技術講演会 ～半導体×ソフト×車載 SoC & SDVの実像～

※SoC: System on Chip SDV: Software Defined Vehicle

日時

2025年12月9日 Tue 13:30～16:40

会場

名古屋商工会議所 3階 第6会議室
ハイブリッド開催【会場聴講＋オンライン聴講】



かわはら・のぶあき

1983年日本電装(現デンソー)入社。半導体センサ等の研究開発に従事。2009年情報安全事業部にて、エアコンECU、HMI、カメラ製品設計、製品担当部長、2015年デンソー基礎研究所所長、2020年MIRISE Technologies取締役。

【講演①】 13:30～14:30

「自動車用先端SoCの研究開発」

自動車用先端SoC技術研究組合(ASRA) 専務理事 川原 伸章 氏

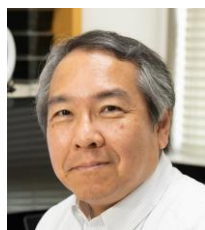
CASEの進展により、クルマの知能化・情報化・電動化が大きく進み、搭載されるソフトウェア、電子システムが大規模化、それらを統合的に制御する高性能なデジタル半導体、SoCが重要です。日本のクルマにはバリエーションがあり、異なるパワートレインがあり、回路規模が異なるため、個々のクルマに最適なSoC開発することは困難でした。ASRAでは、これをチップレットの技術を用いてSDVを実現、SoC/ハードウェアプラットフォームの実現を目指しています。

【企業プレゼンテーション】 14:40～15:00

「静電気試験可視化装置のご紹介」

マイクロウェーブファクトリー株式会社 技術部EMC技術チーム 渡部 一聖 氏

低電圧で動作する電子機器では、静電気放電(ESD(Electric-Static Discharge: 静電気放電))により、誤動作を引き起こすことが多くあり、その電子機器で静電気対策を怠ると大問題になることがあります。ESD可視化システムは、アームロボット、オシロスコープ、ESDテスター、専用ソフトウェアで構成され、ESDの流れを非接触の磁界プローブで自動走査し、ESD電流の可視化を行うことができる装置です。



たかだ・ひろあき

1988年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。同専攻助手、豊橋技術科学大学情報工学系助教授。2003年より名古屋大学大学院情報科学研究科教授。リアルタイムOS、リアルタイム性保証技術等の研究に従事。

【講演②】 15:10～16:40

「オープンSDVとその実現に向けた名古屋大学の取り組み」

名古屋大学 未来社会創造機構モビリティ社会研究所 所長・教授
大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター長 高田 広章 氏

本講演ではまず、最近注目を集めているSDVについて、その定義と動向、それが生み出す価値、実現に向けた課題を説明します。次に、サードパーティが開発したアプリケーションをインストールすることができるオープンSDVについて説明、ビークルAPIの策定・標準化に向けた名古屋大学の取り組みについて紹介します。

■聴講料：会員 4,400円 / 非会員 8,800円(税込)

■申込期限：12月2日(火)

■参加申込：右側のQRコードもしくは下記URLよりお申し込みください>>>>

<https://forms.gle/Nvb1F79LYVYtAHdR7>

